

第3章 京丹後市の史跡等の現況と課題等

(1) 京丹後市の文化財

文化財は京丹後市にとって貴重な財産であり、将来へと適切な形で守り伝えられていくべきものと考えられるが、それら全てを同等に扱い、整備と活用を図っていくことは非常に困難であり非現実的である。

そこで、中でも学術的視点、京丹後市を代表する文化財という視点から特に重要と考えられる国指定史跡の函石浜遺跡、網野銚子山古墳、産土山古墳、神明山古墳などをはじめ、近年の発掘調査等によって貴重な発見や重要な成果がもたらされた赤坂今井墳丘墓、湯舟坂2号墳、大田南5号墳などの弥生墳墓・古墳、また、古代の丹後地方を語るうえで必要不可欠な生産遺跡、集落遺跡を代表する扇谷遺跡、遠慮遺跡群鍛冶工房跡などの史跡を京丹後市の主要な史跡等の現状と課題をまとめ、その保存と整備・活用の方向性を示すこととする。

京丹後市の著名な文化財



函石浜遺跡



赤坂今井墳丘墓



大田南5号墳出土方格規矩四神鏡



遠慮遺跡

(2) 主要史跡等の状況

① 主要史跡等の地域別分布状況

京丹後市は山がちで平野が少ない。その中であって竹野川、福田川、川上谷川、佐濃谷川等の河川沿いに小平野が形成されており、古来それらの小平野が単位となって地域的まとまりが形づくられ、それが各史跡等の成立の背景となったと考えられている。

丹後地方最大の河川である竹野川上流域に所在する主な史跡には、弥生時代の墳丘墓としては全国でも最大級の規模を持ち、多くの副葬品が出土したことで注目された赤坂今井墳丘墓や、大規模環濠集落の扇谷遺跡や途中ヶ丘遺跡、古代祭祀場の遺跡である大宮賣神社、大型の横穴式石室を有する新戸古墳等がある。

竹野川中下流域には玉つくりの集落遺跡である奈具岡遺跡、古代の製鉄工房跡の遠處遺跡群鍛冶工房跡のほか、大型の前方後円墳である黒部銚子山古墳、豪華な副葬品が出土した高山12号墳、丹後地方最古級前方後円墳であると言われる湧田山古墳、青龍三年銘の鏡が出土した大田南5号墳、日本海側最大級の規模を誇る前方後円墳の神明山古墳、そのほか産土山古墳、片山古墳、大成古墳群等多数の古墳が所在する。

福田川流域には神明山古墳とともに日本海側最大規模を誇る網野銚子山古墳、そして離湖古墳や、復元岡1号墳等多様な古墳が分布している。また、鳴き砂で知られる琴引浜、丹後大地震を引き起こした郷村断層など天然記念物も所在している。

京丹後市の西部、川上谷川・佐濃谷川流域には、丹後地方では例の少ない縄文時代の集落遺跡である浜詰遺跡、弥生時代に中国大陸との交流があったことを覗かせ、学史的に重要な遺物とされる「貨泉」が出土した函石浜遺跡、双龍環頭大刀が出土した湯舟坂2号墳等が分布している。

地域	名称	種類	
史跡等	竹野川上流域	15. 途中ヶ丘遺跡（弥生時代前期末～後期）	集落遺跡
		16. 扇谷遺跡（弥生時代前期末～中期中）	集落遺跡
		19. 新戸古墳（古墳時代後期）	古墳（前方後円墳）
		21. 大宮賣神社境内（弥生時代～平安時代）	祭祀遺跡、神社
	竹野川中・下流域	1. 赤坂今井墳丘墓（弥生時代後期末）	墳丘墓
		7. 大成古墳群（古墳時代後期）	古墳群
		8. 高山12号墳（古墳時代後期）	古墳（円墳）
		9. 産土山古墳（古墳時代中期）	古墳（円墳）
		10. 神明山古墳（古墳時代中期）	古墳（前方後円墳）
		13. 奈具岡遺跡（弥生時代～古墳時代）	集落・生産遺跡
		14. 遠處遺跡群鍛冶工房跡（古墳時代後期～奈良時代後期）	生産遺跡
		17. 大田南5号墳（古墳時代前期）	古墳（方墳）
		20. 片山古墳（古墳時代後期）	古墳
		22. 湧田山古墳（古墳時代前期）	古墳（前方後円墳）
	23. 黒部銚子山古墳（古墳時代中期）	古墳（前方後円墳）	
	川上谷川・佐濃谷川流域	2. 函石浜遺跡（縄文時代後期～室町時代）	遺物包含地
		6. 湯舟坂2号墳（古墳時代後期）	古墳（円墳）
		18. 浜詰遺跡（縄文時代後期）	住居跡、貝塚
福田川流域	3. 網野銚子山古墳（古墳時代中期）	古墳（前方後円墳）	
	11. 復元岡1号墳（古墳時代後期）	古墳（円墳）	
	12. 離湖古墳（古墳時代中期）	古墳（方墳）	
天然記念物	4. 琴引浜（鳴き砂）	海岸	
	5. 郷村断層（昭和初期）	断層	

主要史跡等地区別分布状況一覧表

② 主要史跡等の時代別分布状況

日本海に突き出た丹後半島は海の幸に恵まれ、また、海上交通をもって朝鮮半島や中国大陸とも交流が行われたことから、古くから人々が暮らし、先進的な文化を取り入れていたと考えられている。

縄文時代には既に海岸沿いに漁労を営む人々が生活していたと考えられ、そのころの遺跡として浜詰遺跡や函石浜遺跡が知られている。

弥生時代になると日本海の海上交通の便を活かして、朝鮮半島や中国大陸と活発に交流を持つようになったと考えられている。そうした交流の中で得られた技術や物流を支配する強大な権力がこの頃成立したとも考えられ、そのことを示す遺跡として巨大な墳丘と豊富な副葬品が出土した赤坂今井墳丘墓が挙げられる。また、この頃の遺跡として、玉づくりの集落遺跡である奈具岡遺跡や環濠集落の途中ヶ丘遺跡、扇谷遺跡等がある。

古墳時代になると巨大な古墳が築かれるようになる。湧田山古墳、網野銚子山古墳、神明山古墳、黒部銚子山古墳などの巨大前方後円墳がその代表例である。耕作可能地が少ない丹後地方において、これらの巨大前方後円墳が築かれた背景には、丹後地方の支配者が大和政権の中にあって、朝鮮半島や中国大陸との交流を担当するものとして大きな力を持っていたことを示していると考えられている。古墳時代中期になると巨大な前方後円墳は築造されなくなるが、王者の棺ともいわれる長持形石棺を収めた離湖古墳や産土山古墳、巨大な横穴式室を有する新戸古墳や片山古墳、権威の象徴である双龍環頭大刀を副葬した湯舟坂2号墳、高山12号墳などが築かれ続け、この地方に有力な勢力が展開していたことを示していると考えられている。

	時代	名称	種類
史跡等	縄文	2. 函石浜遺跡（後期～室町時代）	遺物包含地
		18. 浜詰遺跡（後期）	住居跡、貝塚
	弥生	1. 赤坂今井墳丘墓（後期末）	墳丘墓
		13. 奈具岡遺跡（弥生時代～古墳時代）	集落・生産遺跡
		15. 途中ヶ丘遺跡（前期末～後期）	集落遺跡
		16. 扇谷遺跡（前期末～中期初）	集落遺跡
		21. 大宮賣神社境内（弥生時代～平安時代）	祭祀遺跡、神社
	古墳	3. 網野銚子山古墳（前期後半）	古墳（前方後円墳）
		6. 湯舟坂2号墳（後期）	古墳（円墳）
		7. 大成古墳群（後期）	古墳群
		8. 高山12号墳（後期）	古墳（円墳）
		9. 産土山古墳（中期）	古墳（円墳）
		10. 神明山古墳（中期）	古墳（前方後円墳）
		11. 復元岡1号墳（後期）	古墳（円墳）
		12. 離湖古墳（中期）	古墳（方墳）
		14. 遠處遺跡群鍛冶工房跡（後期～奈良時代後期）	生産遺跡
		17. 大田南5号墳（前期）	古墳（方墳）
		19. 新戸古墳（後期）	古墳（前方後円墳）
		20. 片山古墳（後期）	古墳
		22. 湧田山古墳（前期）	古墳（前方後円墳）
	23. 黒部銚子山古墳（中期）	古墳（前方後円墳）	
	天然記念物	4. 琴引浜（鳴き砂）	海岸
		5. 郷村断層（昭和初期）	断層

時代別主要史跡等一覧

③ 主要史跡等の種類別分布状況

京丹後市には網野銚子山古墳、神明山古墳に代表される大型前方後円墳の他、豊富かつ学術的価値の高い副葬品を収めた湯舟坂2号墳や高山12号墳、大田南5号墳など多くの古墳が所在している。また、これらの古墳が築かれる以前からすでに丹後地方に強大な支配者が存在したことを想起させ、この地方を代表する首長墓といわれる赤坂今井墳丘墓が所在している。

弥生時代の集落の遺跡としては奈具岡遺跡や途中ヶ丘遺跡、扇谷遺跡などが知られている。

このほか、古代祭祀場の遺跡である大宮賣神社や製鉄工房の遺跡である遠處遺跡鍛冶工房跡、古く縄文時代から海を舞台に人々の生活が展開していたことを示す遺物や住居跡が発見されている函石浜遺跡、浜詰遺跡など京丹後市を代表する遺跡だけでもその種類は多様である。

また琴引浜（鳴き砂）や郷村断層など全国的にも知名度が高い天然記念物が所在している。

	名 称	種 類
史跡等	3. 網野銚子山古墳（古墳時代中期前半）	古墳（前方後円墳）
	10. 神明山古墳（古墳時代中期）	古墳（前方後円墳）
	19. 新戸古墳（古墳時代後期）	古墳（前方後円墳）
	22. 湧田山古墳（古墳時代前期）	古墳（前方後円墳）
	23. 黒部銚子山古墳（古墳時代中期）	古墳（前方後円墳）
	6. 湯舟坂2号墳（古墳時代後期）	古墳（円墳）
	8. 高山12号墳（古墳時代後期）	古墳（円墳）
	9. 産土山古墳（古墳時代中期）	古墳（円墳）
	11. 復元岡1号墳（古墳時代後期）	古墳（円墳）
	12. 離湖古墳（古墳時代中期）	古墳（方墳）
	17. 大田南5号墳（古墳時代前期）	古墳（方墳）
	7. 大成古墳群（古墳時代後期）	古墳群
	20. 片山古墳（古墳時代後期）	古墳
	1. 赤坂今井墳丘墓（弥生時代後期末）	墳丘墓
	13. 奈具岡遺跡（弥生時代～古墳時代）	集落・生産遺跡
	15. 途中ヶ丘遺跡（弥生時代前期末～後期）	集落遺跡
	16. 扇谷遺跡（弥生時代前期末～中期初）	集落遺跡
	14. 遠處遺跡群鍛冶工房跡（古墳時代後期～奈良時代後期）	生産遺跡
	2. 函石浜遺跡（縄文時代後期～室町時代）	遺物包含地
	18. 浜詰遺跡（縄文時代後期）	住居跡、貝塚
	21. 大宮賣神社境内（弥生時代～平安時代）	祭祀遺跡、神社
天然記念物	4. 琴引浜（鳴き砂）	海岸
	5. 郷村断層（昭和初期）	断層

種類別主要史跡等一覧

④ 主要史跡等の指定状況

現在、京丹後市には国指定、府指定、市指定合わせて160件の文化財が所在している。京丹後市所在の主な文化財のうち、「貨泉」など貴重な遺物が出土した函石浜遺跡、巨大な前方後円墳である網野銚子山古墳と神明山古墳、古墳時代の葬送儀礼を考えるうえで貴重な発見のあった産土山古墳は国の史跡に指定されている。また、丹後大地震を引き起こし、その痕跡が地上に露呈している郷村断層は国の天然記念物に指定されている。

湯舟坂2号墳、高山12号墳、湧田山古墳、黒部銚子山古墳などの古墳は京都府の史跡に指定されている。このほか、遠慮遺跡鍛冶工房跡や、大宮賣神社も京都府の史跡となっている。

また、日本海に面した断崖上に数基の古墳が点在する大成古墳群、大規模な横穴式石室を有する新戸古墳、片山古墳、岡1号墳のほか離湖古墳、浜詰遺跡や扇谷遺跡などは京丹後市の史跡に指定されている。京丹後市指定の名勝・天然記念物としては琴引浜(鳴き砂)がある。

他に重要な文化財であるが、史跡等の指定を受けていないものに、赤坂今井墳丘墓や奈具岡遺跡、途中ヶ丘遺跡、大田南5号墳がある。早急に指定等の方向づけがなされることが望ましい。

指定区分	種別	名称	種類
国指定	史跡	2. 函石浜遺跡(縄文時代後期～室町時代)	遺物包含地
		3. 網野銚子山古墳(古墳時代中期前半)	古墳(前方後円墳)
		9. 産土山古墳(古墳時代中期)	古墳(円墳)
		10. 神明山古墳(古墳時代中期)	古墳(前方後円墳)
	天然記念物	5. 郷村断層(昭和初期)	断層
京都府指定	史跡	6. 湯舟坂2号墳(古墳時代後期)	古墳(円墳)
		8. 高山12号墳(古墳時代後期)	古墳(円墳)
		14. 遠慮遺跡群鍛冶工房跡 (古墳時代後期～奈良時代後期)	生産遺跡
		21. 大宮賣神社境内(弥生時代～平安時代)	祭祀遺跡、神社
		22. 湧田山古墳(古墳時代前期)	古墳(前方後円墳)
		23. 黒部銚子山古墳(古墳時代中期)	古墳(前方後円墳)
京丹後市指定	史跡	7. 大成古墳群(古墳時代後期)	古墳群
		11. 復元岡1号墳(古墳時代後期)	古墳(円墳)
		12. 離湖古墳(古墳時代中期)	古墳(方墳)
		16. 扇谷遺跡(弥生時代前期末～中期初)	集落遺跡
		18. 浜詰遺跡(縄文時代後期)	住居跡、貝塚
		19. 新戸古墳(古墳時代後期)	古墳(前方後円墳)
		20. 片山古墳(古墳時代後期)	古墳
	名勝・天然記念物	4. 琴引浜(鳴き砂)	海岸
無指定	遺跡	1. 赤坂今井墳丘墓(弥生時代後期末)	墳丘墓
		13. 奈具岡遺跡(弥生時代～古墳時代)	集落・生産遺跡
		15. 途中ヶ丘遺跡(弥生時代前期末～後期)	集落遺跡
		17. 大田南5号墳(古墳時代前期)	古墳(方墳)

指定別主要史跡等一覧

⑤ 主要史跡等の調査状況

京丹後市の主要な史跡等のうち赤坂今井墳丘墓、湯舟坂2号墳、高山12号墳、産土山古墳、離湖古墳、奈具岡遺跡、扇谷遺跡、大田南5号墳などは本格的な発掘調査が行われ、ほぼ遺構の全容が解明されている。また、函石浜遺跡や、網野銚子山古墳、途中ヶ丘遺跡等でも試掘調査が実施されており、遺構の性格の一部が判明している。

しかし一方で、神明山古墳や湧田山古墳、黒部銚子山古墳等は主要な史跡であるが、遺構の解明という面では十分な調査が行われていない。これらの史跡についても今後活用の方針に応じ発掘調査等が行われ、遺跡の再評価や活用がなされることが期待される。

	区分	名称	調査歴
史跡等	発掘等調査により遺構の解明がほぼなされている	1. 赤坂今井墳丘墓（弥生時代後期末）	平成10～15年発掘調査
		6. 湯舟坂2号墳（古墳時代後期）	昭和58年発掘調査
		7. 大成古墳群（古墳時代後期）	昭和42年発掘調査
		8. 高山12号墳（古墳時代後期）	昭和61年発掘調査
		9. 産土山古墳（古墳時代中期）	昭和14年発掘調査 昭和43年測量 平成7・8年発掘調査
		11. 復元岡1号墳（古墳時代後期）	昭和42年発掘調査
		12. 離湖古墳（古墳時代中期）	平成2年発掘調査
		13. 奈具岡遺跡（弥生時代～古墳時代）	平成7・8年発掘調査
		14. 遠處遺跡群鍛冶工房跡（古墳時代後期～奈良時代後期）	平成3年発掘調査
		15. 途中ヶ丘遺跡（弥生時代前期末～後期）	昭和47～57年発掘調査
		16. 扇谷遺跡（弥生時代前期末～中期初）	昭和47～62年発掘調査
		17. 大田南5号墳（古墳時代前期）	平成5年発掘調査
		18. 浜詰遺跡（縄文時代後期）	昭和26・43年、平成2年発掘調査
	発掘等調査により一部遺構の解明がなされている	2. 函石浜遺跡（縄文時代後期～室町時代）	大正7年試掘調査
		3. 網野銚子山古墳（古墳時代中期前半）	昭和60年範囲確認調査
		21. 大宮賣神社境内（弥生時代～平安時代）	大正12年試掘調査
		発掘調査等がなされていない	10. 神明山古墳（古墳時代中期）
	19. 新戸古墳（古墳時代後期）		未調査
	20. 片山古墳（古墳時代後期）		未調査
22. 湧田山古墳（古墳時代前期）	昭和62年測量		
23. 黒部銚子山古墳（古墳時代中期）	未調査		
天然記念物	その他	4. 琴引浜（鳴き砂）	—
		5. 郷村断層（昭和初期）	—

主要史跡等各種調査状況一覧

⑥ 主要史跡等の整備状況

京丹後市の主要な文化財のうち郷村断層、湯舟坂2号墳、離湖古墳等では遺構の露出展示や表示あるいは復元等が行われ、合わせて説明板等が整備されている。函石浜遺跡や網野銚子山古墳、神明山古墳、遠處遺跡群鍛冶工房跡等では説明板や、標柱が設置されているが、遺構そのものの表示や復元等を行われていない。

また、整備されているものの中にも一部老朽化が進んでいるものもみられる。

	整備状況	名 称	内 容
天然記念物	整備がほぼ完了している	5. 郷村断層（昭和初期）	遺構露出展示覆屋、説明板、駐車場等
史跡等		6. 湯舟坂2号墳（古墳時代後期）	遺構露出展示、説明板、ベンチ等（ただし老朽化）
		8. 高山12号墳（古墳時代後期）	墳丘修復、説明板等
		11. 復元岡1号墳（古墳時代後期）	墳丘・石室移築復元、説明板、駐車場等
		12. 離湖古墳（古墳時代中期）	遺構露出展示覆屋、遺構平面表示、説明板、駐車場等
	18. 浜詰遺跡（縄文時代後期）	建物復元、説明板等	
	説明板設置等一部整備が行われているが遺構は未整備	2. 函石浜遺跡（縄文時代後期～室町時代）	説明板、標柱、駐車場等
		3. 網野銚子山古墳（古墳時代中期前半）	説明板、標柱等（ただし老朽化）
		7. 大成古墳群（古墳時代後期）	説明板等（ただし老朽化）
		9. 産土山古墳（古墳時代中期）	説明板、標柱等
		10. 神明山古墳（古墳時代中期）	説明板、標柱、ベンチ等（ただし老朽化）
13. 奈具岡遺跡（弥生時代～古墳時代）		説明板等	
14. 遠處遺跡群鍛冶工房跡（古墳時代後期～奈良時代後期）		説明板、標柱等	
15. 途中ヶ丘遺跡（弥生時代前期末～後期）		説明板等	
16. 扇谷遺跡（弥生時代前期末～中期中）		説明板等	
17. 大田南5号墳（古墳時代前期）		説明板等	
19. 新戸古墳（古墳時代後期）		説明板等	
21. 大宮賣神社境内（弥生時代～平安時代）		説明板、標柱等	
22. 湧田山古墳（古墳時代前期）		標柱等	
23. 黒部銚子山古墳（古墳時代中期）	説明板等		
天然記念物	未整備	1. 赤坂今井墳丘墓（弥生時代後期末）	—
		4. 琴引浜（鳴き砂）	—
史跡等		20. 片山古墳（古墳時代後期）	—

整備状況別主要史跡等一覧

⑦ 主要史跡等の土地所有状況

京丹後市の主要な史跡等のうち、指定地もしくは遺跡地の全てを公有化しているのは琴引浜、郷村断層、湯舟坂2号墳、大成古墳群、高山12号墳、復元岡1号墳、離湖古墳、途中ヶ丘遺跡だけである。多くは一部公有化されているものの私有地を含むものや、全く公有化されておらず、私有地ということで開発の危険にさらされているところも多い。

	土地所有状況	名 称	土地所有者
天然記念物	指定地が全て公有化されている文化財	4. 琴引浜(鳴き砂)	国有、区有
		5. 郷村断層(昭和初期)	市有
史跡等	指定地・遺跡地 が全て公有化されている文化財	6. 湯舟坂2号墳(古墳時代後期)	市有
		7. 大成古墳群(古墳時代後期)	府有
		8. 高山12号墳(古墳時代後期)	市有(駐車スペースは丹後土地改良区有)
		11. 復元岡1号墳(古墳時代後期)	市有(管理は小浜区)
		12. 離湖古墳(古墳時代中期)	市有
		15. 途中ヶ丘遺跡(弥生時代前期末～後期)	市有
	指定地・遺跡地の一部が公有化されている文化財	1. 赤坂今井墳丘墓(弥生時代後期末)	市有、私有
		2. 函石浜遺跡(縄文時代後期～室町時代)	国有、市有、神社所有
		3. 網野銚子山古墳(古墳時代中期前半)	区有、私有
		13. 奈具岡遺跡(弥生時代～古墳時代)	区有、私有
		14. 遠處遺跡群鍛冶工房跡(古墳時代後期～奈良時代後期)	区有、私有
		18. 浜詰遺跡(縄文時代後期)	市有、私有
		19. 新戸古墳(古墳時代後期)	市有、私有
	指定地・遺跡地のほぼ全てが公有化されていない文化財	23. 黒部銚子山古墳(古墳時代中期)	市有、私有
		9. 産土山古墳(古墳時代中期)	神社所有
		10. 神明山古墳(古墳時代中期)	神社所有
		16. 扇谷遺跡(弥生時代前期末～中期初)	私有
		17. 大田南5号墳(古墳時代前期)	私有
		20. 片山古墳(古墳時代後期)	私有
21. 大宮賣神社境内(弥生時代～平安時代)		神社所有	
22. 湧田山古墳(古墳時代前期)	神社所有、私有		

土地所有状況別主要史跡等一覧

(3) 主要史跡等の現状と課題

京丹後市に所在する史跡等は、発掘調査等が実施されて遺構の解明がなされているものや、逆に全く調査等が行われておらず詳細が不明のままのものなど状況にばらつきが見られる。また、整備、活用の面から見ても、整備が完了して多くの見学者が訪れている文化財もあれば、逆に遺跡そのものに近づくことすらできないもの、あるいは大規模な改変を受けているものなどあり、十分な活用が行われていない文化財も多い。

主要文化財の状況から個別の課題を以下の表にまとめる。

主要史跡等別課題一覧表

名称	内容	現状	課題
1. 赤坂今井墳丘墓	弥生時代後期に築かれた墳墓としては全国最大級の大型方形台状墓。第4主体部の発掘調査によって全国最多を誇るガラス勾玉が出土している。古代丹後の王ともいべき人物の墓とも考えられ、極めて貴重な遺跡である。	現在は無指定。発掘調査後埋め戻された墳丘の半分は遺構面に直接シートを被せて保護している。その他は草地となっている。周辺は雑木林。耕作地となっており、墳丘墓本体は公有化されているが、周辺は民有地である。遺構の保存状態は良好である。	○我が国の古代史を考えるうえで貴重な文化財として、何らかの指定を行うなど保護措置を講ずる必要がある。 ○保存整備と活用に向けて、整備活用の方向性と整備手法の検討が必要である。 ○整備時に農業振興地域である周辺用地取得の検討が必要である。
2. 函石浜遺跡	縄文時代後期から室町時代にまで至る複合遺跡。貨幣（1世紀、中国新王朝の貨幣）が出土しており、学史的に重要な遺跡だが、大正・昭和初期の試掘調査以外に学術的な発掘調査は未実施である。	国の史跡に指定されており、一部が国定公園第一種特別地域に指定。現状はニセアカシアの群落となっているがその多くが枯死。一見だけでは史跡の価値や範囲が明確ではない。遺跡の北辺は日本海に面した砂浜となっており波の浸食によって遺跡地が削られつつある。	○本格的な発掘調査が行われておらず、遺構の全容解明には至っていない。発掘調査など体系的かつ継続的調査を実施して、遺跡の評価を行う必要があると考えられる。 ○波による遺跡の浸食を防ぐ方策を講ずる必要がある。 ○海浜植物、森林の保全を図り景観の保全が必要。
3. 網野銚子山古墳	全長198mを誇る日本海側最大級の前方後円墳。墳丘は三段に築かれ、葺石を施し、埴輪が樹立されていた。埴輪には丹後地方独特のものである「丹後型円筒埴輪」が含まれており、丹後と大和政権との関係を考えるうえで重要な遺跡である。	国指定史跡。倍塚と考えられる小銚子古墳と寛平法皇陵古墳を従える。周濠部は民有で耕作地、墳丘は公有で樹林地となっている。遺構の残存状況は概ね良好だが、墳裾部で削平が目立つ。墳頂部からは旧潟湖の網野を眼下に、日本海を見渡すことができる。	○京丹後市を代表する文化財であり、積極的な保存と活用が望まれる。整備に必要な情報を得るために本格的な発掘調査を行い、整備と活用に向けての方向性と手法を検討することが望まれる。 ○見学者のための進入路、駐車スペースの確保。
4. 琴引浜	全国有数の鳴き砂の自然海岸。全長約1.8km。毎年夏期には京阪神地方を主に各地から多くの海水浴客が訪れて賑わう。中央の「太鼓浜」と呼ばれる岩礁で東西に分けられる。	京丹後市指定名勝。鳴き砂は天然記念物。若狭湾国定公園。夏期に海水浴場として利用される。太鼓浜からの眺望は良く、日本海の高原によるパノラマ景観が広がる。海浜植物が自生。地元住民による「鳴き砂を守る会」が結成され、鳴き砂保全活動が行われている。専門の資料館施設「琴引浜鳴き砂文化館」がある。	○環境の悪化による影響を受けやすい鳴き砂を守るために、地元鳴き砂保護組織と京丹後市との連携強化を図る。 ○京丹後市を代表する、全国的にも認知度の高い場所であることから、より一層のPRを図り、夏期だけでなくその他の季節にも観光客等の誘致を促す。
5. 郷村断層	昭和2年の丹後大地震を起こした断層。地表において岩盤のズレが観察できる珍しい例。表出箇所は3ヶ所あり、小断層の名から「樋口断層」「小池断層」「生野内断層」と呼ばれる。	国指定天然記念物。現在、京丹後市の2箇所断層そのものに覆屋を設けて露出展示、保存されている。このほか1箇所では市道法線のズレから断層の存在を確認できる。露出展示されている断層は風化が進行しつつある。	○近年高まりつつある防災意識の啓蒙に活かせるよう、単に断層の露出展示に留まらず、防災の総合的学習ができるような施設の充実を図るなど、より積極的な整備と活用が期待される。
6. 湯舟坂2号墳	横穴式石室を主体部とする径18mの円墳。早くから墳丘は削平され、石室は天井石が失われていたが、昭和56年に発掘調査が実施され、金銅装双龍環頭大刀が出土したことで有名となった。この大刀を含め豊富な副葬品は国の重要文化財に指定されている。	京都府の史跡に指定されている。墳丘は封土のほとんどを失っている。石室も羨道前半と天井石を失っているものの側壁、奥壁の保存状態は良好である。床には人頭大の川原石を敷き詰めている様子も見られる。現在は小さな古墳公園となっているが、ベンチやフェンスなどの施設の老朽化が目立つ。谷あいの最奥部に位置し、集落から離れているため、目が届きにくい面がある。	○現状では遺跡の保存状態は比較的良好で、一応整備も行われているが、考古学の専門家や一部のファン以外はほとんど訪れていないと考えられる。京丹後市を代表する文化財であることから、標識、案内板等のサイン設置や駐車場の確保、広報活動を積極的にを行い、来訪者の誘致を図ることが望まれる。また、日常管理体制の確立も課題である。
7. 大成古墳群	13基の横穴式石室で構成される群集墳。このうち7、8、9号墳が発掘調査され、現在公開されている。封土を失った7、8、9号墳は、海を背景に独特の景観を示す。	京丹後市指定史跡。7、8、9号墳は公開され説明板が設けられている。森林組合によって草刈りが行われている。	○遺構の保存状態は比較的良好であるが、石室保護対策が必要。放置同然の状況であり、今後の保存と活用に関する検討が必要である。
8. 高山12号墳	高山12号墳は9基の横穴式石室を有する高山古墳群を構成する古墳のひとつである。昭和61年に実施された発掘調査によって金銅装双龍環頭大刀の柄頭が2点発見され注目された。	京丹後市指定史跡。現在は説明板等が設置されているが、古墳へと至るアクセス路等は未整備で、道標等サインも不足している。横穴式石室は天井石の一部が失われており、側壁も崩壊の恐れがあるため石室内には土が詰められている。	○現状では訪れる人もわずかで、ほとんど活用もなされていない。今後有効に活用を図っていくためにも、古墳の存在を広く紹介し、現地へ訪れるうえで重要なアクセス路等の整備、周辺の見学箇所の掘り起こしを図ることが期待される。
9. 産土山古墳	昭和13年に墳頂部に鎮座する三柱神社を改築する際、長持形石棺、埴製まくら、環頭刀子、四獣鏡が出土。未盗掘の古墳として、古墳時代の葬送儀礼を考えるうえで貴重な資料をもたらした。	国指定史跡。現在も墳頂部には三柱神社が鎮座する。長持形石棺は調査後埋め戻されており見ることはできない。墳丘は松林となっている。北側墳裾部には国道178号が通っており削平が進んで擁壁が設けられている。墳頂部からは日本海が望め、眺望がよい。	○保存整備と活用に向けて整備活用の方向性と手法の検討が必要である。 ○用地の公有化を検討する。 ○墳丘の保全対策が必要である。 ○学校との連携。(保全対策、郷土学習等)
10. 神明山古墳	日本海側最大級の前方後円墳。全長約200m。葺石と埴輪を有し、墳丘は三段に築かれている。舟をヘラ書きしたと思われる埴輪が発見されており、古墳の立地とともに海に関係した被葬者を想起させる。伝石室出土遺物に滑石製合子、椅子形石製品(東大総合博物館蔵)がある。	国指定史跡。前方部先端から後円部墳頂に登ることができるように遊歩道が設けられているが、後円部墳頂を除いて墳丘全体は雑木林(保安林)に覆われている。墳丘の遺存状態は比較的良好と思われるが、竪穴式石室と考えられる主体部は過去に盗掘を受けて破壊されているものと考えられる。後円部墳頂からは水田(旧潟湖)および日本海を望むことができる。	○基礎的調査を行ったうえで必要箇所の伐木、墳裾の表示等を行い、遺構の顕在化を図ることが期待される。 ○隣接する古代丹後の里資料館、産土山古墳との一体的整備、活用が必要と考えられる。

名称	内容	現状	課題
11. 復元岡1号墳	横穴式石室を主体部とする径15mの円墳。発掘調査によって金銅装単龍鳳環式環頭大刀等が出土した。また、馬の前足が供献されていたことも判明している。発掘後昭和42年に現在の場所へ解体移築。	市指定史跡。離湖湖畔、小浜公民館の傍らに立地する。横穴式石室内には自由に入って見学可能。石室石材には解体時に書き込んだと思われる数字やしるしが残っている。	○地域の歴史を学ぶうえで貴重な文化財であり、身近に触れることができる生きた教材として価値が高いことから、これまでと同様に地元の協力と理解のもと遺跡の保存を図っていく。 ○進入口の整備。
12. 離湖古墳	43m×34mの不整形な方墳。平成2年に発掘調査が行われた。2基の主体部を有する。第1主体は長持形石棺直葬（棺底のみ出土）。第2主体は箱形木棺の直葬であった。多くの副葬品とともに出土した銅釧、石釧は京都府下では出土例が少なく貴重である。	京丹後市指定文化財。離湖公園内の小山上に立地する。長持形石棺の棺底は実物が覆屋に収められて現地で保存展示されている。2基の主体部も平面的表示されている。説明板が設置されている。近くの離山古墳(竪穴式横穴式石室)も現状保存されている。	○公園内にあるため、古墳の周囲は背の高い樹木に覆われ鬱蒼としている。眺望を確保するなどすることによって瀧湖の島に築かれた本古墳の立地が体感的に理解できる措置が必要である。
13. 奈具岡遺跡	竹野川中流域の弥生時代～古墳時代にかけての拠点集落遺跡。玉と鉄器の生産工房跡が発見された。工房遺構と生産過程を知る工具及び多量の未成品が出土。弥生時代の生産と流通を考えると重要な遺跡である。	未指定。遺跡の一部は丹後国営農地開発事業によって農地の地下に埋め戻されたが、その農地は現在ほとんどが休耕している。周辺の遺跡群も造成が行われ、現地で遺跡の状況を知る手がかりに乏しい。	○遺構が把握できるような処置を図り、出土遺物を含めた保存・活用が必要。
14. 遠慮遺跡群鍛冶工房跡	古墳時代から平安時代に至るまでの鍛冶炉跡や製鉄炉跡、須恵器窯などに付随するように竪穴住居跡や、掘立柱建物跡等、工房と思われる建物跡が検出された。いわば古代の製鉄コンビナートともいべき遺跡で、古代の製鉄を考えるうえで重要な遺跡である。	京都府指定史跡。一帯は農地整備が行われ、保存地区には奈良時代の工房と、横口の炭窯跡を保存。現在、遺構は埋め戻されて広場となっており、遺跡の存在を示す標柱と説明板が立てられている。	○現地を訪れても何もなく、往時の姿をイメージするのは難しい。今後遺構の顕在化を図っていくことが期待される。
15. 途中ヶ丘遺跡	弥生時代の環濠集落遺跡、断面がV字型を呈する環濠が人口の増大にともなって8度にわたり拡張されていることがわかっている。玉作りの原石のほか、ガラス製管玉など玉作り関係資材のほか、陶けんの出土もあり、丹後を代表する弥生時代の拠点集落跡である。	未指定。現在は途中ヶ丘運動公園となっており、遺構は全てグラウンドの地下に埋め戻されており、目にする事ができない。わずかな標柱や説明板が遺跡の存在を示している。	○調査成果の整理。 ○現状からは遺跡の存在が非常にわかりにくい、今後遺構の整備を行うことも難しいと思われる。 ○京丹後市の文化財ネットワークの拠点として、案内施設や情報発信施設の充実を図っていくことなどが考えられる。
16. 扇谷遺跡	弥生時代前期から中期にかけての高地性集落跡。丘陵上に二重の深い堀が巡らされていた。後世の削平で山上の集落そのものは破壊されているが、堀底から中国伝来の楽器といわれる陶けんのほかガラスや、玉製品が検出された。	市指定史跡。保存運動が展開された結果、遺跡南西には丘陵の一部を削って市道杉谷荒山線が通り、巨大な擁壁が聳えている。遺構は埋め戻されて山林となっている。丘陵上には古墳群（八幡山古墳群）があり眺望が良いが、近寄りたくて見学は極めて困難である。	○指定地のほとんどが民有地である。将来的には遺跡地の公有化を進め、遺構の顕在化を図っていくことが期待される。 ○地山部分の保護。
17. 大田南5号墳	一辺約18mの方墳。中心主体部は組合式石棺。青龍三年銘の方格規矩四神鏡が出土して全国的にも有名となった。この鏡は国の重要文化財に指定されている。	未指定。高い丘陵上にあるが、古墳の東側一帯が土取り場となっているため、墳裾ぎりぎりまで掘削されており、垂直に近いガケとなっている。土取り場入口に説明板がある。2号墳からは画文帯神獸鏡が出土している。	○現地見学のためのアクセス道、駐車場の整備。
18. 浜詰遺跡	縄文時代後期の貝塚と住居跡が発見された。貝塚からはシジミ、アサリなどの魚介類の殻や骨の他、イノシシの骨、ドングリなどが出土しており、当時の食生活が伺える。	現在、住居が復元されており、自由に中に入って見学できる。旅館街の一角にある。	○現地へ至るための道標等が少なく、これらの整備が望まれる。 ○復元住居の日常管理。
19. 新戸古墳	6世紀頃に築かれた前方後円墳で、丹後地方最大級の横穴式石室を有する。石室に石棚を備えている点も珍しい。	京丹後市指定史跡。現在は山林となっており近づくことは難しい。墳丘の南側は山裾が大きく削られており、墳裾の際までガケになっている。墳丘、石室の崩壊を招く恐れがある。	○遺構を保護するために南側ガケの崩壊防止工事が必要と思われる。 ○石室崩落防止のための対策をとる必要がある。
20. 片山古墳	封土が流失して横穴式石室の天井石が露出している。未調査のため詳細は不明だが6世紀末～7世紀初頭に築かれた古墳と考えられる。	市指定史跡。古墳の南側は石積み擁壁となっている。擁壁の下は個人の駐車場となっている。周辺には民家が建ち、外部から見ただけでは存在に気づきにくい立地。案内標識等もない。	○道標等を適宜設置する ○土地所有者の理解と協力を得る。
21. 大宮賣神社境内	延喜式内社。丹後二の宮。大正12年に行われた試掘調査によって弥生時代から平安時代に至る祭祀場の遺構が発見された。古代祭祀場が神社になった例として貴重な遺跡である。	京都府指定史跡。遺跡は神社境内の地下にある。境内には遺跡の存在を示す碑が建てられている。出土遺物の一部は宝物館で展示されている。本殿脇の石灯籠は重要文化財。	○所有者の同意が得られるならば、中心集落の解明を図るために必要に応じ発掘調査等を実施する。 ○調査結果によっては追加指定や用地の公有化を図る。
22. 湧田山古墳群	古墳時代前期の前方後円墳である1号墳を中心に大小約30基の古墳で構成される古墳群。1号墳は全長100mを測る。葺石、埴輪は見られない。竹野川流域では神明山古墳、黒部銚子山古墳に次ぐ規模。	京都府指定史跡。京都府文化財環境保全地区。遺構の保存状況は比較的良好。古墳群の立地する丘陵の東側は急斜面もしくはガケとなっている。一帯は多久神社の鎮守の森であり、本殿からは竹野川流域が良く眺望できる。	○墳丘の崩落防止策の検討。 ○遺構の解明を図るために必要に応じ発掘調査等を実施する。 ○調査結果によっては追加指定や用地の公有化を図る。
23. 黒部銚子山古墳	全長105mを測る前方後円墳。二段築成で埴輪と葺石を有すると考えられるが、未調査のため詳細は不明。	京都府指定史跡。墳丘は樹林地となっており、周辺は耕作地である。遺構の保存状態は良好で、谷の中程に築かれた墳丘は精美な姿で少し離れた道路上からも墳丘の形がわかる。	○見学者用施設(駐車場、アクセス道)の整備。

(4) 主要史跡等の現状と課題による区分

主要文化財を発掘調査等の有無、指定状況、土地の所有状況、整備状況等を基に、類似の状況にあるものをA～Gの7グループに分ける。これらのグループは今後整備の優先順位等を考えるうえで有効であると考えられる。

A.	発掘調査等が実施され遺構の全容がほぼ解明されており、国、府、市の文化財に指定もしくは登録されている。そして、指定地の全体あるいは主要部分が公有化されて、ある程度保存・管理と活用（公開、解説、遺構整備等）が図られている文化財。
B.	発掘調査等が実施され遺構の全容がほぼ解明されており、国、府、市の文化財に指定もしくは登録されている。そして、指定地の全体あるいは主要部分が公有化されて、保存は図られているが、管理・活用が十分に図られていない文化財。
C.	発掘調査等が実施され遺構の全容がほぼ解明されており、国、府、市の文化財に指定もしくは登録されている。しかし、指定地の全体あるいは主要部分が私有地で、保存は図られているものの、管理や活用が十分に図られていない文化財。
D.	発掘調査等が実施され遺構の全容がほぼ解明されている。国、府、市の文化財に指定されていないが、市によって管理されている。しかし、調査後、遺構は埋め戻されて、現在はグラウンド等として利用されている文化財。
E.	発掘調査等が実施され遺構の全容がほぼ解明されているが、国、府、市の文化財に指定されていない。しかし、指定地の全体、主要部分が公有化されている。一方で適切な保存・管理と活用（公開、解説、遺構整備等）が充分行われていない文化財。
F.	発掘調査等が実施され遺構の全容がほぼ解明されているが、国、府、市の文化財に指定されていない。そして、指定地の全体あるいは主要部分が私有地で、適切な保存・管理と活用（公開、解説、遺構整備等）が充分とられていない文化財。
G.	発掘調査等、十分な調査は実施されていないが、国、府、市の文化財に指定もしくは登録されている。しかし、適切な保存・管理と活用（公開、解説、遺構整備等）が充分とられていない文化財。

主要史跡等区分別課題一覧表

区分	名称	調査状況	指定状況	土地所有	整備状況	課題
A	5. 郷村断層	—	国指定天然記念物	公有	ほぼ整備完了	区分Aに属する文化財は国や府あるいは市の指定を受け、ある程度の保存と活用が図られている文化財である。発掘調査等各種調査が行われており、遺構の解明がなされ、文化財としての評価がほぼ定まっている。また、それに基づいて整備が実施されており、見学やレクリエーションの場としての利用がなされている。これらの文化財は京丹後市の主要な文化財の中でも比較的良好な状態で地域の歴史や文化、自然環境を伝えていと言え、地域住民だけでなく京丹後市を訪れる多くの人々の目に触れてもらうべき文化財である。そのためには、これまで以上に適切な維持管理とともに、活用を一層促進させることによって文化財としての価値をより顕在化させていくことが求められる。
	6. 湯舟坂2号墳	発掘調査済み	府指定史跡	公有		
	8. 高山12号墳	発掘調査済み	府指定史跡	公有		
	11. 復元岡1号墳	発掘調査済み	市指定史跡	公有		
	12. 離湖古墳	発掘調査済み	市指定史跡	公有		
	18. 浜詰遺跡	発掘調査済み	市指定史跡	公有、私有		
B	7. 大成古墳群	発掘調査済み	市指定史跡	公有	一部整備	区分Bに属する文化財は、文化財として何らかの指定を受けて、説明板などが設けられ、ある程度整備がされているものの、遺構の顕在化が積極的に行われておらず、その場を訪れただけではその文化財の往時の姿をイメージすることが難しい文化財などである。今後は遺構の顕在化をはじめ、説明板等だけでなく広場などを整備することによって体験学習等に利用できるようにしていくことが望ましいと考えられる。また、そのためにも地域の文化財をみんなで守るといった意識の醸成と、維持管理体制の構築が必要である。
	14. 遠慮遺跡群鍛冶工房跡	発掘調査済み	府指定史跡	公有、私有		
C	9. 産土山古墳	発掘調査済み	国指定史跡	神社所有	一部整備	京丹後市の歴史を語るうえで重要な文化財であることから、単に保護するだけに留まらず、遺構の顕在化等より積極的な整備と、その後の利活用が求められる。そのために、まず指定地及び周辺地の公有化を検討し、整備のための条件を整えることが重要である。
	16. 扇谷遺跡	発掘調査済み	市指定史跡	私有		
D	15. 途中ヶ丘遺跡	発掘調査済み	未指定	公有	一部整備	京丹後市の歴史を語る上で重要な文化財でありながら、指定、登録を受けておらず、現在は解説板等が設けられているだけで、そこが遺跡であることは一見しただけでは理解しがたい状態である。一方で遺跡そのものは調査が行われており、埋め戻したうえで運動公園のグラウンドとして整備されて遺構の保存が図られているので、今後遺跡が破壊されてしまうような最悪の事態だけは避けられると考えられる。しかし、こういった保存のあり方は文化財の保存と活用という観点から見れば、必ずしも満足すべき状態とは言えない。現在の整備状況を鑑みると遺構の表示や、復元といった整備は難しいと思われるが、総合案内板・説明板の充実や、パンフレットの配布、パネル展示等の行える休憩施設の設置など、情報ネットワークの拠点としての整備を図ることなどが考えられる。
E	1. 赤坂今井墳丘墓	発掘調査実施 (一部未調査)	未指定	公有、私有	未整備	区分Eの文化財は近年の発掘調査等で重要な発見が相次ぎ、京丹後市のシンボルともいうべき文化財であることが判明した。にもかかわらず、文化財としての指定を受けておらず、整備など活用の手だても行われていない。今後は必要に応じて追加調査等を行って遺構の全容を解明し、積極的に保存整備を実施して活用を図っていくべきであると考えられる。
	13. 奈具岡遺跡	発掘調査済み	未指定	公有、私有		
F	17. 大田南5号墳	発掘調査済み	未指定	私有	未整備	京丹後市の歴史と文化について考えるうえで貴重な存在であるが、文化財としての指定や保存が図られておらず、開発によって消滅の危機にさらされている。解説板等が設置されているものの全体としては放置されている状態である。早急に保護措置を図ったうえで用地の公有化を行うことが望ましい。
G	2. 函石浜遺跡	試掘調査のみ	国指定史跡	公有、神社所有	一部整備 ・未整備	区分Gの文化財は貴重な文化財であるということで国、府、市などの文化財に指定され保護されているが、本格的な発掘調査等は行われていない。今後、これらの文化財について適切に保存、整備、活用を行っていくためには、遺構の解明とその結果によっては追加指定や公有化が必要不可欠である。
	3. 網野銚子山古墳	範囲確認のみ	国指定史跡	公有、私有		
	4. 琴引浜	—	市指定天然記念物	公有		
	10. 神明山古墳	測量のみ	国指定史跡	神社所有		
	19. 新戸古墳	測量のみ	市指定史跡	公有、私有		
	20. 片山古墳	未調査	市指定史跡	私有		
	21. 大宮賣神社境内	試掘調査のみ	府指定史跡	神社所有		
	22. 湧田山古墳	測量のみ	府指定史跡	神社所有、私有		
	23. 黒部銚子山古墳	未調査	府指定史跡	公有、私有		